

内装業を将来の選択肢に

県建設室内
工事業協会 OIDE長姫で体験学習会

飯田OIDE長姫
高校建築学科3年の
40人は17日、県建設
室内工事業協会の協
力で、内装工事を校
内で体験した。壁や
天井の下地になる鋼

材や石膏ボード張
りなどを通じ、座学
では得にくい現場の
手順や仕事の魅力に
触れた。

体験学習は年1回
行い、今年で4回
目。人口減少や業界
の人手不足を背景
この日は、協会に
加盟する飯田市上郷
別府の建築工事業コ



内装業体験学習に臨んだ生徒たち

ンテックナガイの従
業員ら15人が来校。
実物の建材を使い、
教室内に現場を再現
した。

生徒たちは内装業
のプロから部材や工
具の使い方を学びな
がら、鋼製下地づく
りや壁・天井のボー

ド張り、タイルカー
ペット敷きに取り組
んだ。

同社からは同校O
Bも講師として参
加。この春卒業した
ばかりの所澤悠良さ
ん(18)は「昨年の
この体験学習で内装
業の魅力を知り、こ

の道を選んだ」と振
り返り「厳しいイメ
ージがあるかもしれ
ないが、実際は働き
やすくやりがいもあ
る。一人でも志して
くれたらうれしい」
と、後輩たちにエー
ルを送った。

県建設室内工事業協会

建築学科3年生へ

仕事の魅力について伝える

2026年(令和8年) 4月23日 木曜日 南 信 州 新 聞

地域人教育

佐藤飯田市長が

商業科3年に講義

ふるさとを語れる人に

なつてほしい

OIDE長姫高

飯田の魅力伝える

市長が商業科3年に講義

飯田OIDE長姫高校で17日、佐藤健飯田市長が商業科の教育活動「地域人教育」の特別講師を務めた。3年生に飯田の魅力や取り組みなどを伝え、活動のヒントを示した。

地域人教育は同校と市、松本大学の3者のパートナーシップ協定により行う教育プログラム。高校生が地域理解を深

め、地域での生き方を考え、郷土愛を育むことを通じて地域を担う人材を育成する狙いがある。

本年度は72人の生徒が市内の各地区やテーマ別に分かれて活動を展開し、地域への理解を深める。

市長の特別講義は毎年の年度始めに実施し、飯田の地域づくりの強みや将来

像、現在の課題などについてを学ぶ機会としている。

佐藤市長は、市の課題や将来像だけでなく、自身の体験か



佐藤市長による特別講義

らも助言。「自分が大學生の時、地元の良いさを友だちに伝えられなかった。その時、初めて故郷のことをあまりにも知らないことに気づいた」と

打ち明けた。その上で「ふるさとを語れる人になつてほしい。地域人教育は素晴らしいプログラム。いろんな人の話を聞いて学び、体験してほしい」と呼び掛けた。

自身が信条とする論語「近き者悦び、遠き者来る」も紹介し、「地元住民の愛着度が高い地域が、外部の人が魅力を感じる地域になる。地域に対する愛着と誇りを持つてほしい」と訴えた。